

湖南広域行政組合議会研修を実施しました

令和8年7月22日（水）、23日（木）の行程で議会研修を実施しました。

今回は、石川県内において、消防分野の研修として、七尾鹿島消防本部およびななお・なかのとDMO（※旧能登島観光協会）、保健医療分野として、金沢広域急病センターにて研修を行いました。

※〔7月22日（水）〕

●七尾鹿島消防本部（石川県七尾市つつじが浜3番地83）

令和6年の能登半島地震から2年が経過した現在の復興状況の視察や当時の消防活動などについての講義をいただき、今後の当組合における震災への備えを考える上で貴重な体験をすることができました。



〔七尾鹿島消防本部概要、震災対応の説明〕



〔消防本部前、海岸の隆起状況視察〕

●ななお・なかのとDMO ※旧能登島観光協会（石川県七尾市和倉町2部13番地1）

研修会場：能登島荘（石川県七尾市能登島えの目町32-66）

「能登島で学ぶ能登半島地震の被害と防災について考えるプログラム」に参加し、被災された住民との対話により、自助・共助の重要性について見識を深めることができました。



〔研修施設の様子〕



〔研修先語り部から震災当時から現在までの講話〕



〔地元漁港視察〕

※〔7月23日（木）〕

●金沢広域急病センター（石川県金沢市西念3丁目4番25号）

夜間における小児科・内科の初期医療施設であり、センターの運営や診療体制についての視察を行い、当組合の休日急病診療所における今後の運営方針等を定めるための知識を深めることができました。



〔金沢広域急病センターの概要説明〕



〔現地の視察〕

組合議会といたしましては、広域行政における諸課題について今後も研鑽を深め、議会活動に反映させていきたいと考えております。